

Cグループ

川上邦代（符津小）	吉田 香（月津小）
増田清美（安宅小）	北村里美（向本折小）
佐々木友理（今江小）	坂本ひとみ（芦城小）
山作真由美（波佐谷小）	角井基代美（木場小）
松本恵子（金野小）	

テーマ ～ よりよい家庭教育のために、 家族のルールを築いていこう！ ～

C グループ

月津小学校、安宅小学校、今江小学校
金野小学校、木場小学校、波佐谷小学校
符津小学校、向本折小学校、芦城小学校

はじめに

小松市母親委員会では、『これからの家庭教育』というテーマで矢原珠美子先生による講演会を開催しました。私たちは小学校高学年の子どもを持つ母親として多くを学ぶことができ、Cグループのテーマを『よりよい家庭教育のために、家族のルールを築いていこう！』と掲げ、討論を続ける中で“他の家庭のお手伝いについての考え方や状況はどうか？”という疑問が多く出されました。そこで、小学校5・6年生の親子を対象にアンケートをとり、自分たちの家庭教育を見直すことにしました。

9校 467 名中 355 名回収

《結果 保護者》

1 子どもにお手伝いをさせていますか？

はい 244 人

いいえ 44 人

2 子どもは自分から進んでお手伝いをしていますか？

はい 182 人

いいえ 164 人

《結果 子ども》

親の考えと子ども
の考えを比べながら
ご覧下さい！



《結果 保護者》

3-1 お手伝いをしてもらう目的はなんですか？ (複数回答あり)

自立や将来に役立つように	132
家族の一員であるためお互い助け合って生活をしたい	56
他人とのコミュニケーションのきっかけ、協力をする大切さをわかって欲しい	25
助かるから	24
人の役に立つということの喜びと感謝の心を忘れないでほしい為	14
実際手が足りないので家事等を子供のころから覚えさせる為	5
当たり前だから	5
責任感を養う為	4
女の子なのでお嫁に行ったときに失敗しないように	3
時間を有効に使ってもらう為	2
働くことの大切さを学んでほしい為	2
自然と習慣化されている	2
成長した時にお手伝いをした良い思い出があるように	1
挨拶ができる子になってほしい為	1
子ども自身がどうして物ができ食事ができるか体験してほしい為	1
整理整頓を身に付けたい為	1
家の中に何がどこに置いてあるかわかって欲しい為	1

3-2 子どもがするお手伝いはどの位ですか？

毎日	99人
週に1・2回	119人
週に3・4回	68人
月に1・2回	3人

3-3 決まったお手伝いはありますか？

ある	167人
ない	124人

《結果 子ども》

なぜお手伝いをするのですか？ (複数回答あり)

お母さんが忙しくて大変そう	65
『して』と言われるから	54
お母さんを喜ばせたいから	21
楽しいから	15
お金をもらうから	15
お母さんに少しでも“楽”をしてほしいから	14
自分からやりたいと言っている	11
家族で順番に掃除をしないといけないから	11
将来のため、自分の為	11
することがないため	10
お母さんが働いているのでそのお返しに	8
早くできるといいから	8
当たり前だから	7
その他	39
(清潔にしたいから。すると(親が)言う事を聞いてくれる etc)	



《結果 保護者》

3-4 感謝の声掛けはしていますか？

はい 273 人

いいえ 15 人

3-5 お手伝いに対してお小遣いを渡していますか？

はい 45 人

いいえ 146 人

渡している理由はなんですか？（複数回答あり）

ご褒美 10

仕事の大変さ・喜び、お金の有難さをわかっ

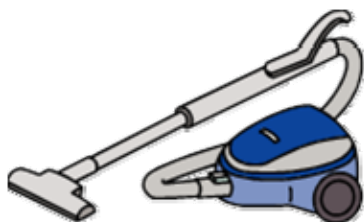
てほしい 8

自分でお金の管理をさせる為 5

バイト代（自営） 1

渡していない方の理由（複数回答あり）

- ・お手伝いは当たり前のことなので、それに対して特にお金は与えない
- ・（お手伝いを）することが当たり前だから
お金ではなく言葉などでたくさんの感謝の意を表している
- ・特に必要ないと思ったから
- ・お小遣いで行わせるのは母ですが、働かなければお金はもらえないのを教えている 父親は
手伝いは子供として当然の仕事と思っている
- ・家族みんなで何でもすることは当然だと思
います 報酬が欲しいような言い方をされる時
もありますがお互い我慢です
- ・お金が目的でないため 見返りを求めず人のた
めに尽くす喜びを知って欲しい
- ・お小遣いをあげる必要はない
女の子なので自分のため
- ・買い物の時に好きなお菓子を 1 つ買っても良い
ことになっている



《結果 子ども》

どんなお手伝いをしていますか？（複数回答あり）

食事 227

（料理、配膳、後片付け、明日の準備）

掃除（風呂、玄関、トイレ、部屋） 108

洗濯（干す、畳む） 71

ゴミ出し、分別、収集 16

ペットの世話 16

布団引き 11

兄弟の世話 9

机の後片付け、掃除 5

マッサージ 4

水やり 4

回覧板 3

その他 50

（畑、買い物、アイロンがけ、カーテン開け、
窓開け、仕事の手伝い etc）

お手伝いをした後の感想は？（複数回答あり）

すっきりする 39

疲れる、大変 35

気持ちがよくなる 24

やっと終わったと思った 20

『ありがとう』と言われるのが嬉しい 19

達成感がある 19

特にない、普通 13

家族の役に立つ 11

またやりたい 10

疲れるけど楽しい 8

『はぁー』となって、よかった 7

その他 37

（ご飯がおいしい、面倒くさい、親の大変さが
わかる）



《結果 保護者》

1. で『いいえ』に○を付けた方にお聞きしました。

4-1 させていないのは何故ですか？

言ってもしない・文句を言う	11
ゆっくりしてもらおう時間がない為つい自分でしてしまう	5
子供自身に時間がない	5
しても続かない為	3
子供にしてもらおうよりも自分でしたほうが早 い為させなくなった	3
特に理由はないが、時間に余裕がない為 自分でやってしまう	2
自発的にしてくれるまで待っている	2
させようとは思っているが、習慣になる手 伝いでこれといったいいものがない	1

4-2 今後お手伝いをさせようと思いますか？

はい	・・・	53人
いいえ	・・・	2人

《結果 子ども》

お手伝いをしない人に聞きます

なぜお手伝いをしないのですか？

習い事で忙しい	25
面倒くさい、やる気がしない	16
家族から頼まれないから	15
することがないから	3
自分のためにならない	1

これからチャレンジしてみたいお手伝いは？

掃除（風呂、玄関、トイレ、部屋）	98
食事 （料理、配膳、後片付け、明日の準備）	84
いままで通り	84
洗濯（干す、畳む）	71
靴並べ	10
ペットの世話	5
家のことを全部する	5
ゴミ捨て	5
その他	25
（庭の草むしり、マッサージ、買い物、洗車、 裁縫、力仕事）	

考 察

アンケート結果より話し合い、考えました。

親、子どもの双方共にお手伝いすることは大切と考えていることが解りました。

しかし、アンケート結果にもあるように、お手伝いをしていない子どもやさせていない親も見られます。

最近の傾向として、子どもにお手伝いをさせることが難しい状況にあります。しかし親の意識で変えられるのではないのでしょうか？子どもは習い事などで忙しく『時間がない』といいますが、それは親にとっても子どもにとっても言い訳です。日々の生活の中で、家族のルールとしてできることを習慣化させましょう。

『言わないとしない』ということもあります。これに対し、親は声掛けを大切にしていける必要があります。どうしてもその時に出来なければ約束をしあとでやらせます。お手伝い後は感謝の声掛けをすることで子どものやる気がアップします。



子どもにはまだ早かったり、親がする方が早く楽にできると考えます。しかし、『したい時にさせる』『させられる時にさせる』などで子どもに出来ること、また、出来そうなことを見つけ子どもの力を信じ最後まで任せてみましょう。

親はどんな些細なことでもお手伝いをさせようと小さな仕事を見つけてさせています。実際、お手伝いの内容は多岐にわたっていました。お手伝いをすることで“家族の一員”としての役割を与え、子どもの将来のためになると考えています。

子どもは『して』と言われるからお手伝いをするという答えが多いですが、お母さんが大変そうなのを見ていてお母さんに楽をしてもらいたいという気持ちでやっているという意見が多くありました。親の大変さが見えてくると理解できるようになり、感謝の気持ちが芽生えてきます。

ま と め

各ご家庭でのアンケート調査結果をもとに私たち親が自覚したことは…

お手伝いをするによって 『子どもの躰』 となる。

保護者の方を対象にしたアンケート結果では大人になったら役に立つから…将来のために…家族の一員なので…当たり前など様々でしたが、子どものアンケート結果からは『お母さんが大変そうでお手伝いをしている』『家族の役に立って“ありがとう”とお礼を言われ、嬉しくて』『またやりたいと思う！！』などの子どもの素直な言葉に感動し嬉しく思いました。

私たち親が日常生活において、お手伝いを通して実践できること！！もしや日本の未来を担う！？世界に羽ばたく！！子供たちに

“褒めて・叱って・認めて・伸ばして・感謝する”

を合言葉に家族のルールとして各ご家庭でもぜひチャレンジしてみてください！

親子間の安心感が深まり強い“絆”で結ばれるのではないのでしょうか？

この母親委員会グループ別研修会を縁として様々・色々私たち親が自覚する良い機会を得られたことに感謝致します。

ありがとうございました。

